

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H30 特殊車両通行許可事務の効率化検討業務
業 務 概 要	本業務は、関東地整管内において、最近の車両の大型化によりトラック事業者からの特殊車両通行許可の申請件数が増加していることに伴い、許可までの審査日数が増加していることから、関東地整における特殊車両許認可に掛かる審査及び通行許可の迅速化を目的として、業務効率化の検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成30年 6月 5日
契 約 業 者 名	株式会社建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町3丁目21番1号
契 約 金 額	¥44,506,800円 (税込み)
予 定 価 格	¥44,506,800円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するにあたっては、高度な技術力や知識、豊富な経験を必要とすることから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により、請負業者の選定を行った。 株式会社建設技術研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 国土交通省関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成30年 6月 6日
履 行 期 間 (至)	平成31年 3月29日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。